

WABARA®

オリジナル品種「WABARA」を育成する「Rose Farm KEIJI」 ばらづくりの思想を取り入れたニューアイテムおよびサービスを発表



「生きたばらをつくる」をコンセプトに、流通にあわせた過剰な操作を加えず、自然に則した ばらづくりに挑む Rose Universe co., Ltd.（所在地：滋賀県守山市 CEO：國枝健一）。

同社がプロデュースする育種家・國枝啓司くにえだけいじが手がける60種にのぼるオリジナル品種「WABARA」が、ヨーロッパをはじめ世界中で支持、注目されるなか、2018年5月17日（木）、ばらづくりの思想を取り入れたニューアイテムおよびサービスを発表します。

アイテムはブーケボックスやオリジナルの花器、「WABARA」の花びらや花弁を取り入れたフードやスイーツ、野草茶など多彩なラインナップ。現時点では準備段階にあるアイテムも含め、オンラインストアをはじめとする販売チャンネルで順次展開される予定です。

一方のサービスは、人と自然の共生を旗印とするラインナップ。「WABARA」を媒介に自然との一体感を得ながらのボディメンテナンスなど、「Rose Farm KEIJI」のばらづくりに共感するサポーターとのコラボレーションが多彩に展開される予定です。

お客様お問い合わせ先

Rose Universe co.ltd <http://www.rosefarm-keiji.net>

TEL 077-585-1133

メディアお問い合わせ先

HOW INC

E-MAIL pressrelease@how-pr.co.jp

TEL 03-5414-6405

WABARAとは

國枝啓司が手がけるオリジナル品種。『生きたばらをつくる』というコンセプトのもと、流通に適合させるための過剰な操作を加えることなく生みだされる。特長は、花卉の柔らかさ、たおやかな茎葉、優しい中間色の花色。そして、見た目の繊細さからは想像できないたくましさ。自然に限りなく近い環境で生育されることで、野に咲く草花のように、どのような空間や花種と合わせても調和を乱さない。生態系のひとつのポジションを担うものとして、周囲のいのちと共生し、次のいのちのために身を捧げる。その営みこそが『WABARA』というブランドであり、國枝啓司のクリエイションである。



CREATOR



國枝啓司 | Keiji Kunieda / 育種家

1956年、滋賀県生まれ。1976年に父である國枝栄一が営む國枝バラ園に就農、栽培技術担当者として生産に従事する。1981年、ヨーロッパ研修にて学んだ思想や技術をもとに育種家としての活動を開始し、皇太子殿下、雅子妃殿下に献上した『プリンセスマサコ』や神戸元町のシンボルローズをはじめとするオリジナル品種の創造に励む。2003年、『Rose Farm KEIJI』を設立。2006年に長男健一を事業パートナーに迎える。10年をかけて慣行栽培から土耕栽培への移行を実現し、『WABARA』ブランドを確立させる。健一に経営を継承した現在は、ばら作家としての活動に専念している。

PRODUCER



國枝健一 | Kenichi Kunieda / WABARA プロデューサー

1981年、國枝啓司の長男として生まれ、幼少よりばらに親しむ。2年のドイツ留学、一般企業での就業経験を経て、25歳で父が営む『Rose Farm KEIJI』に就農。その後、2014年に『Rose Universe』を立ち上げ、CEOに就任。プロデューサーとして、國枝啓司が理想とする栽培環境や栽培手法の確立をサポートする。同時に『WABARA』の思想を体現するプロジェクトや想いを同じくするパートナーとのコラボレーションを世界各国で推進するほか、琵琶湖の再開発事業や花育プログラムの提供など、生態系の一部を担う『WABARA』のポテンシャルを地球に還元する取り組みも精力的に行っている。

Rose Farm KEIJI

2003年、育種家・國枝啓司が設園したばら園

Rose Universe co., Ltd. | 株式会社 ローズユニバース

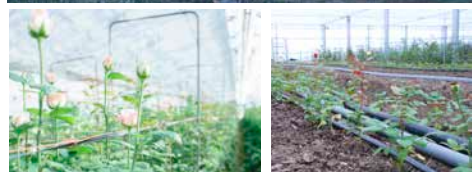
2014年設立。『WABARA』プロデューサー・國枝健一が代表を務める

WABARA Café

2016年7月にオープンしたRose Farm KEIJIのコンセプトショップ。WABARAの要素を活用したメニューを展開している。

〒524-0041 滋賀県守山市勝部1-13-1（滋賀県JR守山駅から徒歩5分ほど） INSTAGRAM @wabaracafe

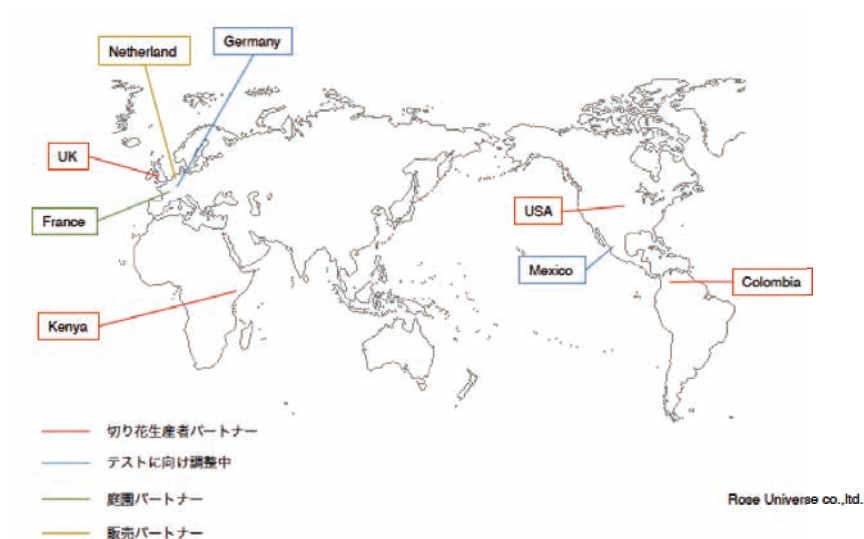
WABARA の世界



NEW ITEM より（全ラインナップは、ブランドデビューの5月17日に公開を予定しています）



『WABARA』の世界展開



フランス庭園にWABARAが個性をにじませる一角が誕生

北フランス、パ・ド・カレー県のトゥックとアラスの間に位置するレ・ジャルダン・ド・セリクールの一 corner に、『WABARA』でしつらえた庭園が2018年初夏に誕生します。この庭園は、文化大臣による「Jardin Remarquable」に認定される庭園で、著名なペイザジスト(緑地意匠家)であるイヴ・ゴス・ド・ゴール氏が30年を費やし、作り上げました。子息であるギヨーム氏が継承し、新たな魅力を吹き込んだ2012年には『2012年の庭』にも選出されました。『La "Beauté du vide", (空っぽの美学)』を体現するギヨーム氏が際立たせる『WABARA』の繊細な色彩、個性豊かな茎葉の揺らぎ、日々の移ろいに、早くも期待が集まっています。このほか世界各国で、ヨーロッパのばらには見られない『WABARA』の個性が人々を魅了しています。

サポーターズ（WABARAのブランディングに携わるクリエイター）

中西 径 / クリエイティブディレクター、松澤 稯 / 建築家、中野渡正樹 / アートディレクター、北野早苗 / コピーライター、
加藤 貴代美 / スタイリスト、横山 美恵子 / フラワーアーティスト、山口 美登利 / アートディレクター、田村 愛 / クリエイティブディレクター、
大久保 有加 / 花道家、松本 俊明 / ピアニスト、瀬戸 勝之 / サウンドクリエイター、谷 信雪 / サイクルアーティスト、
永井 進之洲 / プロデューサー、田淵 章仁 / LUDENS シェフ、布川 真一 / 姿勢改善専門スタジオ Be-Style コンディショニングトレーナー